

# 令和7年度 瀬谷さくら小学校コミュニティ・スクール事業計画書

## 1 施設の設置目的を踏まえた管理運営計画

コミュニティ・スクールは、地域住民の生涯学習や地域活動の身近な場として、相互交流を深めることを目的としています。したがって、だれにでも親しみのある利用しやすい施設づくりに努めていきます。

また、地域や学校との連携強化にも努め、情報の交換と共有化を図り、相互協力のもとに住民の要望等を管理運営に反映させるよう努めます。

- ① 地域や学校と情報の交換と共有化に努めます。
- ② 防犯・防災計画や避難訓練等で地域や学校との連携を進めます。

## 2 地域特性、地域ニーズを踏まえた管理運営計画

瀬谷さくら小学校コミュニティ・スクールの利用者の居住区は、瀬谷区のみならず、泉区、大和市と近隣の市や区にわたっています。また、60歳以上の方が大変多い状況にあります。そこでだれでも気軽に利用できるように、手続きの簡素化を図ることや安全面に気を配り、備品類の使いやすさ、書類等の文字の見やすさなど、高齢者にも配慮した施設運営に努めていきます。

さらに、地域の各種団体は大変活発な活動がなされ、学校と「瀬谷さくら小学校交流会」という組織を形成し、この中にコミュニティ・スクールも含まれています。この特性を生かし、様々な意見を聞くことができることから、まさしく地域密着の運営を目指します。

## 3 施設の安全性、安定的な維持管理計画

館長及びスタッフを適切に配置し、月1回のスタッフミーティングで情報を共有し、館の円滑な運営に努めます。

個人情報保護や人権について研修を実施し、法及び条例の趣旨の周知と意識の向上を図ります。

事故対応マニュアル等を整備するとともに、日ごろから防犯・防災その他の緊急時対応には万全を期していきます。

建物・設備については、計画的に損耗や老朽化の状況把握に努め、公共施設としての維持・管理に努めていきます。

その他、状況に応じた対応策を講じます。

## 4 利用者ニーズの把握、サービスの向上計画、利用促進計画

地域関係団体を代表する委員で構成される運営委員会を活用して、地域ニーズを把握します。

また、地域住民利用者との日常対話、利用者アンケートや館内のご意見箱への御意見などを通じて、利用者ニーズの把握に努めます。

地域の行事には積極的に参加し、施設の利用促進のためのコミュニケーションを図ります。

笑顔で、大きな声で、はっきりと、明るい接遇を心がけるなどサービスの向上に努めます。

毎月の施設情報誌の発行やホームページ、SNSなどで情報を発信します。

「来てみて良かった、また来てみたい、瀬谷さくら小コミスク」を目指します。

## 5 自主事業計画

自主事業を実施する目的は、生涯学習や地域住民の新しいグループ活動のきっかけを提供することにあります。地域のニーズを把握して、年齢・性別などが偏らず、多くの住民の方々が、気軽に参加できる様々な事業を展開していきます。

参加人数にこだわらず、“初めての参加”の方が一人でも多く参加してくれるような事業を行うために、楽しく、参加しやすい魅力的な事業の企画、運営に努めます。

開催まであと2年となった国際博覧会「GREEN×EXPO 2027」に向けて、花に関連した事業を行うことで機運を高めていきます。

絵本の蔵書が多いことから、小さなお子さんと保護者向けのおはなし会を定期的に行き、地域の交流を図っていきます。

講師と参加者の関係が和やかになるような配慮や、コミュニティ・スクールで形成された団体が地域で活躍できるよう支援していきます。

### 令和7年度 瀬谷さくら小学校コミュニティ・スクール 自主事業計画（上半期）

No	事業名	対象者	募集人数	開催予定月	回数	予算 (円)
1	ちいさなおはなし会	0歳から幼児	各5組	4・7月	4	500
2	★モルックを楽しもう♪ (軽スポーツ)	どなたでも	20	5月	1	3,000
3	脳トレおりがみ 季節のお花づくり	成人	8	6月	2	6,500
合 計					7	10,000

★…放課後キッズ・文化スポーツ共催事業 ※…学校・PTA・地域共催事業

### 令和7年度 市民が森に関わるきっかけづくり事業（横浜市みどりアップ事業）

No	事業名	対象者	募集人数	開催予定月	回数	予算 (円)
1	GREEN×EXPO 2027 たねダンゴ作り ワークショップ	どなたでも	20	5月	1	23,000